

冬に対馬を再発見!

～悠久の営みを探して～

例年より暖かいとはいえ、寒さが和らぐまでもうしばらくかかる対馬。家の中でゆっくりと過ごすのもいいですが、この季節にあえて外へと出てみるのはいかがでしょうか？今、冬のキャンプをはじめ、冬だからこそ外へ出て活動することが注目されています。

今回は、対馬の歴史を研究している長崎章さん、菜々子さん親子（上県町佐須奈在住）に、古代の人たちが残した遺跡を巡りながら、対馬の冬の楽しみ方を紹介していただきます。

皆さんは、この手のひらにあるものがなにかわかりますか？
これは縄文人が使っていたかもしれない石器や土器の破片などです。
対馬には、1万年以上前のものが地表に現れている場所がたくさんあります。

県内の1割が対馬に！「遺跡の島」

古代の人が残した生活の証である遺跡は、長崎県内に約3,800か所が登録されています。対馬は、実にその1割の400か所あまりが存在する遺跡の島でもあります。

長崎さん親子を紹介します

父の影響でこの世界に

子どものころ、船外機や自動車の販売や修理を行う仕事で全島を回る父に連れられ、旧家に残る刀や発掘された遺物などを見に行き、昔の人の生活を知ることに関心を持った章さん。小学生のころ、上県町志多留地区で行われた発掘調査の手伝いをしたことで、さらに興味を抱くことになりました。中学時代には、遺跡調査を自由研究にしたり、家業を継いだ後も、島内各地の遺跡がありそうな場所を巡り、土器や黒曜石のかけらなどを見つけるなど、調査を行っています。

きっかけは夏休みの自由研究から

現在中学3年生の菜々子さんは、小学2年生の時、遺跡好きのお父さんに勧められ、自由研究の題材として上対馬にある「朝日山古墳」を訪れました。初めて行った遺跡に残る石棺には、朱色の顔料が塗られていて、どんな人が埋葬されていたのかと興味を持ちました。それ以来、毎年の自由研究で遺跡を取り上げ、お父さんと一緒に島内各地の遺跡を見に出かけては、自分の目線で遺跡に向き合っています。

今では、遊んでいる時に、土器のかけらを見つけるなど、日常生活の中に研究が溶け込んでいます。



長崎 菜々子さん
(佐須奈中3年)



長崎 章さん



夫婦石遺跡（上県町久原）の調査



毎年続けている
自由研究

活躍する二人の歴史研究家

長崎さん親子は、年間を通じて対馬の遺跡を巡っては、古代の人たちが住んでいた跡や使っていた土器のかけらなど探し、これまで市内で石器などの遺物を約50か所見つけています。

また、菜々子さんが小学6年生のころに石器などを発見した場所を、対馬市文化財課が調査したところ、新たな遺跡であることが判明し、シレンナー遺跡との名称で「周知の埋蔵文化財包蔵地」として登録されました。

また、昨年12月には、対馬を題材に様々な研究を行っている団体や個人が参加する「対馬学フォーラム2019 ポスター発表大会」で、これまでの成果を発表し、約50展の中から最優秀賞に選ばれました。



最優秀賞受賞作品



草木が枯れ、虫が少ない冬は遺跡巡りには絶好の季節です！

長崎さんと歩く、対馬の遺跡！

対馬の遺跡がもつ魅力を教えてもらおうと、長崎さんとともに、上対馬町にある3か所の遺跡を訪れました。長崎さんが声をかけて集まった7人と一緒に、いざ古代ロマンを訪ねる旅へ出発！

塔の首遺跡
(上対馬町古里)

シレンナー遺跡
(上対馬町豊)

朝日山遺跡
(上対馬町大增)



「朝日山遺跡」と「塔の首遺跡」は、ともに古代の人たちのお墓があったところで、平らな石を組み合わせで作った石棺墓が、今も残っています。埋葬されている遺物は現地にありませんが、石棺の内部には、朱色の顔料が塗られていたり、見晴らしの良い場所にお墓があったりと、現地に行くことで発見することがたくさんありました。

「シレンナー遺跡」は、豊地区の先で車を止め、丘を越えて海にでると、海岸沿いに現れます。数年前に長崎さん親子が発見した遺跡で、縄文時代の住居があったところとされています。雨や波で土が削られて、土器のかけらや、刃物などの材料として使われていた黒曜石が地表や海岸に転がっていて「表面採取」という方法で、遺物を拾うことができました！

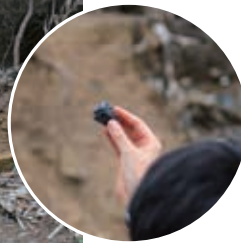


朝日山遺跡の石棺墓

見晴らしの良い場所にある塔の首遺跡に、興味津々



シレンナー遺跡では、対馬にはない黒曜石のかけらがあり古代人が海を渡っていたことを教えてください



佐須奈小6年
田崎 颯斗くん

石器のかけらとかを見つけた時、昔の人たちの知恵ってすごいなーと感じました！



佐須奈小5年
森田 紗奈さん

海の近くで黒曜石が見つかってびっくり！見つけられてうれしかったです！

◆遺跡巡りをするときは◆

- 山やヤブを通るので長ズボンなどで肌の露出を少なく。
- 穴を掘ったり、遺物を掘り起こしたりしない。
- 許可のないところへは入らない。
- 表面採取するときは、場所や状況の記録を忘れずに。
- スマホで撮影すると場所の記録もできます。
- 採取した後は、教育委員会文化財課に連絡を。



遺跡を見つけるということは、そこに暮らしていた人々の姿を見つけるということです。「どんな人がどんなふうに暮らしていたのかな？」と考え、もしかしたら自分の祖先かもしれないなどと、当時のことに思いをはせています。ワクワク感が考古学の一番の魅力だと思っています。これからの夢は、対馬でまだ発見されていない旧石器時代の遺跡を見つけることです！



古代ロマンを追いかける二人の夢



遺跡を見つけた時のうれしさが、私の一番の楽しみです。今、中学3年生で、将来のことを考える時期ですが、これからもずっと考古学を続けていきたいと思っています。まずは高校に進学して考古学に関わる部活を作りたいです。そして大学でも考古学を学び、学芸員として対馬で働きたいと思っています。私たちの世代もそうですが、子どもたちが外で遊ぶことが少なくなっているのので、学芸員になった時には、対馬にたくさんある遺跡の魅力を、対馬の子どもたちに伝えて、より対馬の事を好きになってもらいたいです。

長崎さん親子の活動について、対馬市文化財課の職員に聞いてみました



長崎さんのように、考古学に興味をもって活動している人たちによって、対馬の新たな歴史が明らかになれば、対馬だけでなく、日本や世界の昔のことが見えてきます。皆さんも島内の遺跡に出かけていただき、対馬の縦にも横にも深い歴史を肌で感じてもらえればうれしいです。

遺跡や遺構は、国民みんなの財産として法律で保護されています。出土したり、地表に出てきたものも同じで、それらは「どこに、どのようにしてあったか」という「情報」が価値を持っています。小さな土器のかけらが、そこにあったという情報がわかっていることで、大発見につながる可能性も秘めています。遺跡巡りをする時は、遺跡に影響が出ないように、十分に気を付けてください。また、林業や建設業で掘削作業を行う場合は、遺跡の確認などを行って作業を行ってください。ご不明な点は文化財課にお問い合わせください。



文化財課 尾上 博一 係長

県内で登録されている遺跡のほとんどは、長崎さん親子のような人たちによって発見されています。古代の人たちの足跡が見つかることで、対馬が紡いできた歴史のピースが埋まり、新しい発見につながるかもしれません。寒くて外に出たくない日はまだありますが、新たな発見を求めて近くの遺跡に出かけてみませんか？



塔の首遺跡出土遺物

文化財・遺跡の
情報は…



長崎県の文化財 長崎県遺跡地図

遺物の一部はこちらに展示されています。

- 上対馬町歴史民俗資料室（上対馬総合センター内）
- 峰町歴史民俗資料館（峰地区公民館横）
- 豊玉町郷土館（豊玉文化会館横）

問い合わせ 文化財課 ☎0920(54)2341